



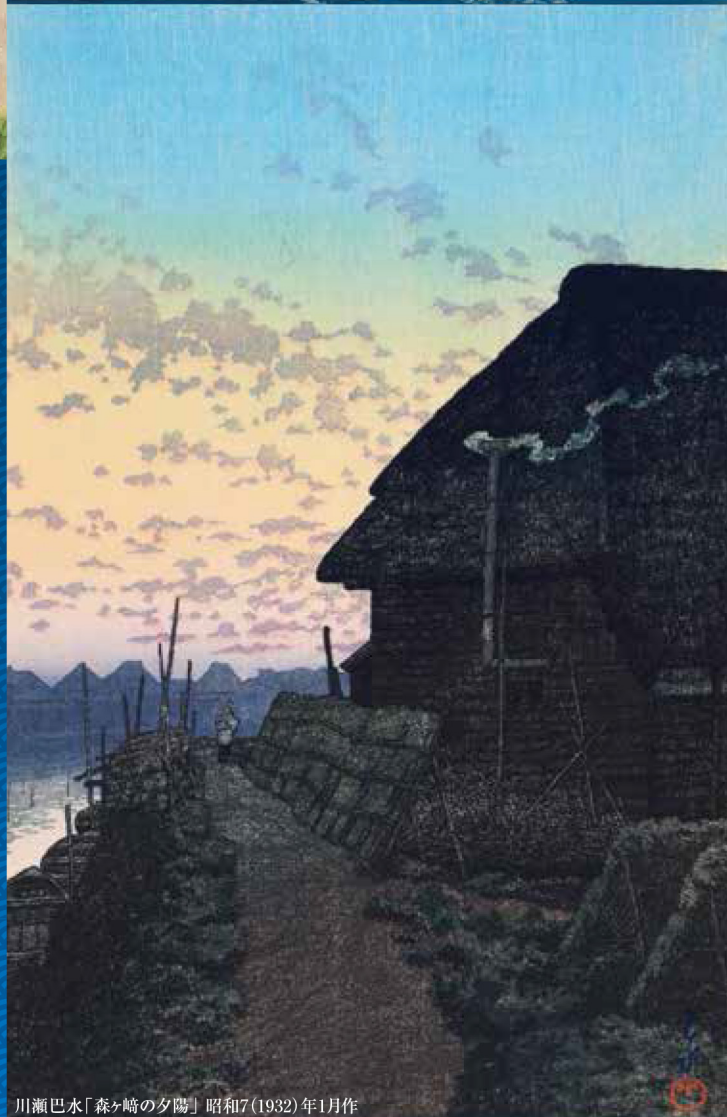
高橋松亭「根方」『雪月花』大正11(1922)年4月



高橋松亭「富士川」昭和2(1927)年～10年



川瀬巴水「清洲橋」昭和6(1931)年2月作



川瀬巴水「森ヶ崎の夕陽」昭和7(1932)年1月作

令和7年度企画展

高橋松亭 × 川瀬巴水

Takahashi Shōtei × Kawase Hasui

日本の技と美

The Technique and Beauty of Japan

令和7(2025)年 10月7日 火
11月24日 月・休

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日 (ただし、祝・休日の場合は開館し、振替休館は行いません)

観覧料
無料

 大田区立郷土博物館
Ota City Folk Museum

〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号
TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283



高橋松亭 × 川瀬巴水

Takahashi Shōtei × Kawase Hasui

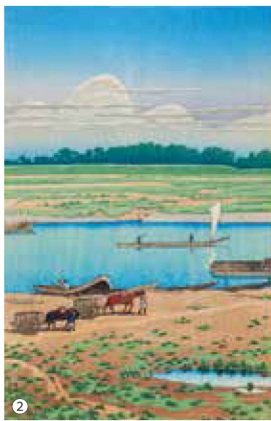
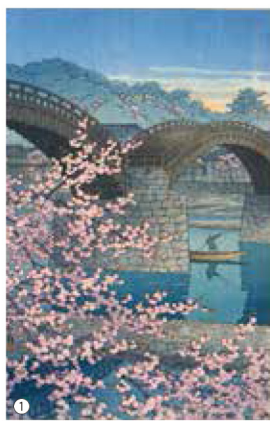
日本の技と美

:The Technique and Beauty of Japan

江戸時代に生まれた浮世絵は日本の伝統美術として定着し、その技術は大正時代に版元の渡邊庄三郎が興した新版画運動に継承されていきます。

渡邊は新版画の制作に必要な資金を調達するため、浮世絵の複製版画と共に明治40(1907)年頃からオリジナルな版画(新作版画)の制作に着手します。その下絵の制作を最初に依頼した絵師が高橋松亭でした。松亭の新作版画は好評を得て、これにより経済的な基盤を固めた渡邊は、新版画の制作へと乗り出していくのです。

令和7(2025)年は高橋松亭の没後80年という節目の年に当たります。これを機に開催する本展では、画業の最も充実した時期を大田区内で過ごした松亭の風景版画に加え、同じく区内に居住し、風景版画の分野で新版画制作をリードした川瀬巴水の作品も展示します。渡邊を中心とする職人集団が築き上げた新版画を通じて日本の技と美をご覧ください。



① 川瀬巴水「錦帯橋の春宵」昭和22(1947)年作

② 川瀬巴水「矢口」『東京二十景』昭和3(1928)年作

③ 高橋松亭・伊藤総山「谷中天王寺」明治42(1909)年～大正5(1916)年

④ 高橋松亭「市の倉」『都南八景』大正11(1922)年2月



会期中の催事

1 講演会

11月16日(日)「フランスにおける新版画の受容」

■講師: 小山 プリジット 氏(武蔵大学名誉教授)

■時間: 午後2時～4時 ■参加費: 無料

■対象: どなたでも ■定員: 先着50名

■申込: 10月21日(火)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

2 摺りの実演

10月26日(日)

■時間: 午前10時～12時、

午後1時30分～午後3時30分 ※2回とも内容は同じ。

■実演・解説: 沼辺 広伸 氏(合同会社 沼辺木版摺師)

■参加費: 無料 ■対象: どなたでも ■定員: 先着各25名

■申込: 9月21日(日)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

3 学芸員講座

① 10月25日(土)

「高橋松亭-新作版画から新版画-」

② 11月22日(土)

「川瀬巴水-人生とその作品-」

■時間: 各回とも午後2時～4時 ■参加費: 無料

■対象: どなたでも ■定員: 先着各30名

■申込: ①9月21日(日)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

②10月21日(火)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

関連展示

「高橋松亭 × 川瀬巴水-いのち、いろどる-」

10月7日(火)～11月24日(月・休)

4 赤ちゃんと一緒に博物館へ

11月6日(木)

■時間: 午前10時～11時30分 ■参加費: 無料

■対象: 0～2歳未満の乳幼児と保護者 ■定員: 先着10組

■申込: 10月1日(水)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

5 まち歩き「芸術さんぽ」

① 10月19日(日) ② 11月12日(水)

■時間: 各回とも午後1時～4時 ※2回とも内容は同じ

■参加費: 300円 ■対象: どなたでも ■定員: 先着各30名

■申込: ①9月21日(日)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

②10月21日(火)午前8時30分より郷土博物館へ電話で申込み。

協力団体: 馬込文士村ガイドの会

6 外国人向け展示解説

11月9日(日)

■時間: 午後2時～4時 ■参加費: 無料

■対象: 日本在住外国人(主に英語圏)

■申込: 不要。直接郷土博物館へお越しください。

高橋松亭と川瀬巴水といえば風景版画の絵師として著名ですが、実は人や花、動物たちも作画の対象として生き生きと描いてきました。どこか懐かし、やさしいまなざしでとらえられた日々の情景。ふたりの絵師が紡いだ「いのちの世界」をお楽しみください。



高橋松亭 仮題「狎」大正15(1926)年(個人蔵)



大田区立郷土博物館

Ota City Folk Museum

〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号 TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283

交通案内

都営地下鉄浅草線

「西馬込駅」東口改札から徒歩7分

JR京浜東北線

「大森駅」北口改札から東急バス4番乗り場で「荏原町駅入口」に乗り、「万福寺前」下車徒歩2分

